

オーストラリア タスマニア ブルーニー島  
サウス・ブルーニー国立公園  
ラビラルディエール半島ウォーク 山旅報告書

No. 15

日 程：2024 年〔令和 6 年〕2 月 28 日

コース：ジェティー・ビーチキャンプグラウンド → Hopwood Beach → Butlers Beach → ジェティー・ビーチキャンプグラウンド

ブルーニー島 (Bruny island) 南端のサウス・ブルーニー国立公園のラビラルディエール半島ウォーク (Labillardiere Peninsula Walk)

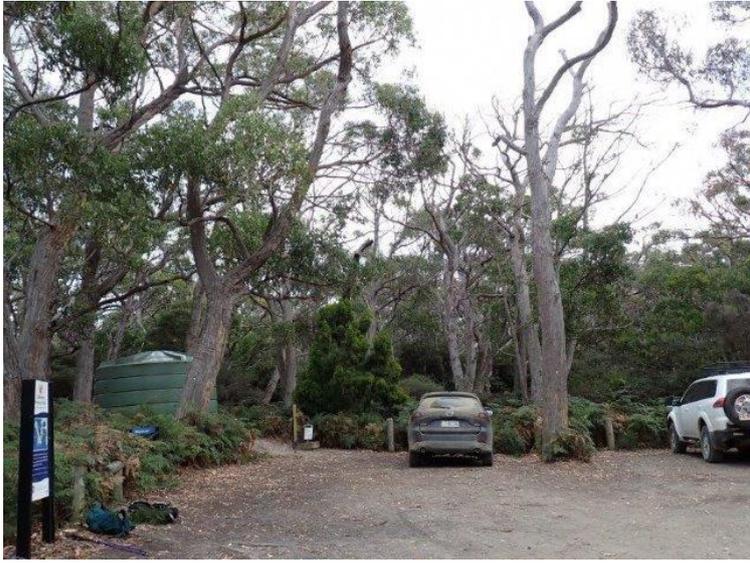
ジェティー・ビーチキャンプグラウンド (Jetty Beach Camp ground) の駐車場が出発地点である。

連日歩きまわっているため、疲れもかなり溜まっていたため当初は、軽くショートコースを行くつもりで出発した。

朝方は、パラパラと小雨が降っていたがすぐに止み、ウォークの分岐まで来て誤ってロングウォークの方の道に行ってしまう、30 分ほど歩いて気付いたものこのこまで来たので、そのままラビラルディエール半島ウォークのロングコースへ転進した。



パンフレットより (歩いたコース ———)



ジェティー・ビーチキャンプグラウンドの駐車場



出発 [9:30]

朝方は、パラパラと小雨が降っていたがすぐに止み、当初は皆さん疲れていることもあり海岸に出て右回りのショートコースに行く予定であった。



① の分岐



② の分岐

②の分岐からロングウォークの方の道に行ってしまう、30分ほど歩いて気付く。

ラビラルディエール半島ウォークのロングコースへそのまま行くこととした。



海岸沿いの比較的高低差のないウォーキングコースを黙々と進んだ





バトルーズ・ビーチ



半島の突端の Butlers Point を回り込んだ地点で、バトラーズ・ビーチ（Butlers Beach）〔12：10〕に出る。

このころには天候も回復して、海岸線の端から歩き出し、途中で海鳥の群れの横を通りすぎ、海岸を見ていると岸近くには魚も見られて、快適な砂浜ウォークである。

このウォーキングコースの最もメイトとなる美しい砂浜ウォーク。ここまで2時間40分経過し連日のウォークで疲れているものの、この景色を見ながらでは、疲れも吹き飛んでしまう。



海岸近くを泳ぐ小魚の群れ



この砂浜の先付近が バトラーズ・ビーチの末端





バトラーズ・ビーチからホープウッド・ビーチへ



ホープウッド・ビーチへ降りる

バトラーズ・ビーチの終了地点で美しい景色を眺めながら休憩を取る。  
そこから一旦林に入り、次のホープウッド・ビーチ（Hopwood Beach）へ進む。  
いずれの海岸も綺麗で印象に残る砂浜である。



ホープウッド・ビーチ



ホープウッド・ビーチを通過してから、やや高低差がある海岸沿いのルートを黙々と歩いていく。





連日のウォークの疲れもあり非常に長く感じる登りである



① の分岐に到着 [15:13]



出発地点のジェティー・ビーチキャンプグラウンドの駐車場 [15:50]

やや行程は長かったが、砂浜付近を歩くときは天候が回復し、他では体験することのできない素晴らしい砂浜ウォークであった。

休憩を含んで6時間20分の行程であった。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura

## ブルーニー岬灯台

ラピラルディエール半島ウォークを終了後、すぐ近くのブルーニー岬灯台（Cape Bruny Lighthouse）を見学、燈台までの上り坂がこたえる。

灯台内部の見学は、16時30分で閉館となっていた。

